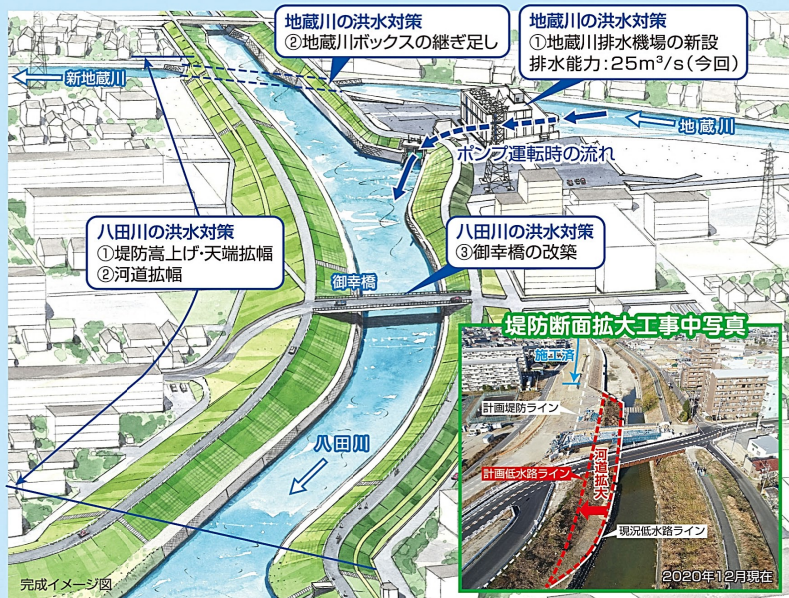


平成23年9月
台風第15号豪雨から10年これまでの歩み

対策事業概要 (愛知県)

八田川・地蔵川の洪水対策「床上浸水対策特別緊急事業」

平成23年の台風と同程度の洪水に対して、床上浸水が生じないように、八田川堤防の嵩上げ・断面拡大と地蔵川に排水機場の新設を実施しています。



平成23年9月台風15号豪雨では約100戸で床上浸水が発生しました。

事業完了後は同程度の洪水に対して床上浸水がなくなります。

八田川の洪水対策

- 整備内容**
- ①庄内川からの背水に必要な堤防高さと天端幅を確保 → 約1mの堤防嵩上げ・天端幅6mに拡幅
 - ②八田川の洪水の流下に必要な断面の確保 → 河道拡幅
 - ③八田川河道拡幅に伴って、御幸橋の改築



地蔵川の洪水対策

平成23年9月豪雨では、ボックスの直上流で最大約70cmの浸水が発生しました。地蔵川では、あふれないように八田川を経由して庄内川へ排水する排水機場を新設するとともに、八田川河道拡幅に必要な交差部ボックスの継ぎ足し工事を実施します。



地蔵川排水機場について

地蔵川排水機場完成イメージ

地蔵川排水機場の概要
地蔵川排水機場は将来的にはポンプが4台(45m³/s)設置されます。今回は、その内3台(25m³/s)を設置します。降雨により地蔵川の水位が上がるとポンプを動かして、地蔵川の水をくみ上げて八田川に流します。

- ポンプ排水能力……………45m³/s(将来計画)
25m³/s(今回)
- 今回の25m³/sは、25mプールを約14秒で空にする排水量となります。
※25mプール：長さ25m幅12m高さ1.2m
- 計画規模……………10年に1回程度(66mm/h)

庄内川河川事務所の治水事業「直轄災害復旧事業」

平成23年9月台風15号の豪雨を受け「再度災害防止対策」として、志段味地区災害復旧工事・H23災害対策緊急事業を実施し、平成24年度出水期までに完成しました。



春日井市の調整池・ポンプ場整備



名古屋市守山区吉根地区の調節池整備

